学校番号	３２２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	総合美術	単位数	３単位	年次	３年次 （普通科）
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の創作活動を通じて、完成を高めるとともに、様々な表現能力を伸ばし、美術を愛する気持ちを養うことを狙いとする。
・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと、目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習する。
・一人ひとり思いや見方、感じ方が違うので、表現方法の特性や形態・色彩・技法などについて着目して、自分なりの感じ方や表現を深める。また、違った見方を「鑑賞」で共有すると、さらに美術への興味関心が広がり、知識や能力も深まる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだし、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができるような技能を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
形や色彩などからよさや美しさを感じ取り、生徒自らが感じ取ったことから、目的や条件を考え主題を生成し、発想や構想を練ることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の学習に取り組み、美術の創造活動の喜びを感じることができる。また、作品の表現や鑑賞の活動を通して、価値を感受し、美術を愛好する心情を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形的な視点について、理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追及し、創造的に表している。	造形的な良さや、美しさ、独創的な表現の意図や工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発送し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて見方や感じ方を深めたりすることができる。	美術作品などの表現の工夫や、芸術文化を理解する。 美術の良さや、美しさを創造的に味わう。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・教科書を鑑賞し、多様な表現方法について学ぶ。・学校生活に役立つアートについて考え、デザインすることの必要性を考えてもらう。 ・美術の中で必要な知識とは何か。形、色、質感、構成、など具体的に表現力を高める、知識について説明する。	a:美術の多様な表現に興味をもち、これからの学習に意欲を高める。 c:教科書から、現代の芸術の文化を学べたか。	ワークシート		授業の様子
	絵で自己紹介を使用	・手のデッサンについて、描き方を学ぶ ・自分の手をスケッチして、自分について観察する。 ・自分の好きなものや自分を表すモチーフを５～６点についてスケッチをしていく。 ・自分の手のデッサンとスケッチを組み合わせて、画面を構成していく ・パネルに構成したものを参考に作品制作を行っていく。画材や色も、構成やモチーフに合わせて変えていく。 ・作品の鑑賞をして、自分の作品の振り返りをする。	a:描き方や、構成を工夫できているか。画材や描き方の表現方法に工夫があるか b:主題を生成し、個性を生かして発送し構想を練ったりできているか。 自分の意図や表現を構成や描き方で表せているか。 c:主体的に創造活動に取り組めているか。鑑賞活動で、美術の良さや、美しさを感じて表現できているか。	デッサン 授業作品	アイデアシート 授業作品	授業の様子 感想文

2学期	油絵入門	・油絵の基本や道具の説明を行い、実際に使用して混色やペインティングオイルの量による違いや、ナイフの使い方などを学ぶ。 ・写真を参考にキャンパスに写す。 ・油絵でも、いろいろな塗り方があることを教科書や絵画をもとに説明し、どのような描き方がこの写真にあっているか考える。 ・そこから、下地にする色や、使う筆やナイフを考え、油絵の政策を行う。 ・感想用紙を書く。	a：油絵について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追及し、創造的に表している。 b:造形的な良さや表現の意図や工夫を考えて、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練っている。 c:主体的に創造活動に取り組めているか。鑑賞活動で、美術の良さや、美しさを感じて表現できているか。	授業作品	授業作品	授業の様子 感想文
3学期	シルクスクリーンでオリジナルロゴをつくる。	・シルクスクリーンの版画の構造を知る。 ・自分のイニシャルが入ったオリジナルのロゴを作る。 ・シルクスクリーンの工程を踏み、制作する。 ・友人の作品を鑑賞、評価する。 ・感想用紙を書く。	a:シルクスクリーンの構造を知り、印刷技術を追求しているかロゴについて知り、コンセプトに合わせて丁寧に表現できているか。 b:ロゴマークを理解し、主題を生成し、発想や構想を練ることが出来ている。 c:自分の作品の評価を感想文に書く。友人の作品を鑑賞し、良いところを探す。	授業作品	授業作品 ワークシート	授業の様子 感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度